

国際ロータリー 第 2710 地区



広島城南ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-JOUNAN

広島城南 RC 会長方針

『みんな一つの心で、ともに歩むロータリー』

会長/二上 真也 副会長/福山 正剛 幹事/高藤 孝一 クラブ会報編集委員長/畝本 一行
 例会場/シェラトングランドホテル広島 広島市東区若草 12-1 例会日/金曜日 事務局/リーガロイヤルホテル広島 <http://hj-rc.jp/>

第 1366 回例会 2025 年 9 月 5 日

記念日（会員誕生日）

- 大西 正朗会員 2 日
- 田上 剛会員 20 日
- 二上 真也会員 20 日

記念日（結婚記念日）

- 福山 正剛会員 30 日

記念日（配偶者誕生日）

- 門田 充慶会員 香里様 6 日
- 宮内 邦枝会員 優気様 22 日

連続出席者の披露

- 加島 文斎会員 8 年連続 100%

会長時間

みなさんこんにちは。

今年度始まって、6 回目の例会となります。これで全例会数の 1/6 終えた事になります。残り 30 回も引き続き気を引き締めていこうと思います。

さて、本日の卓話は、戸田会員による『武芸と武器』となっております。前回に続くお話と言う事で、楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

2 日（火）ここシェラトングランドホテル広島で大西会員の還暦を祝う会が盛大に開催されました。当日は総勢 120 名の方が参加されており、そのうち我が城南からも 30 名の有志が参加しました。これも大西さんの人柄を物語る温かい集いとなりました。これほど多くの方々がお祝いに集まれたのも、大西さんが長年にわたって築いてこられた信頼と友情の賜物であると感じました。入場の際のマツケンサンバでの演出には、大西さんらしいユーモアと言えるかもしれません。なにはともあれ大西さんおめで

とうございます。一次会でかなりお酒が進まれた様子でしたが、どうぞお体を大切に、末永く元気でいらしてください。

9 月は、「基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間」となっております。

本日は、基本的教育と識字率向上についてマイロータリーに記載してある内容をご紹介します。教育の支援

読み書きのできない 15 歳以上の人の数は、世界に約 7 億 7500 万人います。これは、全世界の成人の 17% にあたります。

しかし、学校に通っていない子供は世界に 6700 万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、わたしたちロータリアンの目標です。

ロータリーの教育支援における成果として、ロータリー財団は、奨学金、教材や学用品の寄付、奉仕プロジェクトを通じて、世界中で教育支援を行っています。

活動の例としては、

- ・①学校をつくる。②成人の為の教育。③新しい教授法の導入。④学校における水と衛生設備の改善。⑤教育システムの向上。の 5 つの活動が記載されております。

特にロータリーの活動によってデトロイトで読み書きのレベルが 3 学年分向上した成人の数は 500 人と報告もあがっております。

以上のように、基本的教育と識字率向上に向けたロータリーの取り組みは、世界中の多くの人々に希望をもたらしています。教育は未来を切り開くカギで

あり、誰もが学ぶ権利を持っています。その助けを
になう事ができるのがロータリアンの役割の重要性
を感じました。このような取り組みが広がっていけ
ばと思います。

本日は第一例会という事で、短縮させていただきます。

以上会長時間とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事会務報告

1. ロータリーレート変更のお知らせ 9 月 1 日より 1
ドル 147 円になりました。(8 月 149 円)
2. ボックス配付物 ・ロータリアンの友誌 9 月号 ・会
報 7 月号 (希望者のみ)
3. 回覧物 先週に引き続いてロータリーカレンダー
について

委員会・同好会報告

1. プログラム・出席委員会
2. 広報・ロータリアンの友誌委員会
3. 野球同好会について

ニコニコ箱

二上 真也 (W)

- ①本日の卓話戸田会員よろしくお願いします。
- ②大西さん還暦祝いおめでとうございます。

福山 正剛 (W)

- ①大西さん還暦おめでとうございます！
- ②戸田さん本日の卓話よろしくお願いします。
- ③本日、千田小学校での西国街道出前授業に参加し
てきました。

竹村 有右 (W)

- ①戸田会員、本日の卓話楽しみにしております。よ
ろしくお願いいたします。
- ②本日、初の例会進行をさせていただきます。よろ
しくお願いいたします。

田上 剛

戸田さん、武道に関する卓話を楽しみにしています。
よろしくお願いします。

戸田 拓夫 (T)

- ①大西さん還暦おめでとうございます。
- ②本日の卓話よろしくお願いします。

大西 正朗 (大枚)

今日卓話をしていただける戸田会員、楽しみにして
います。よろしくお願いします。それから、9 月 2 日
(火) の還暦を祝う会には城南の方も多く出席して
もらい、ありがとうございました。但し、「飲みすぎ」
や「飲ませすぎ」は良くないです。気をつけないと
とりかえしのつかないことになると思いました。何
とか回復したので大枚を出宝します。

畝本 一行 (W)

- ①戸田さん、本日の卓話楽しみにしております。
- ②大西さん、還暦おめでとうございます。マツケ
ンサンバ最高のキレでした。

門田 充慶 (W)

- ①大西さん、還暦祝いの会は凄かったですね！身体
に気をつけてください。
- ②戸田さん、会員卓話楽しみにしております。

合計 24,000 円

プログラム・会員卓話

卓話者：戸田 拓夫会員

卓題：武芸と武器など

今回は、吉村さんが町家の授業で重なったようで、
急遽、ピンチヒッターで登場いたしました。実は、
2019 年松本会長年度の 2 月 15 日例会で「武術と秘
武器」と題して卓話をしたのですが、悪い癖で、私
の話が長すぎて語りきれず、その時に説明したかつ
た事を今回お話しします。話は早めに切り上げ、武
士や武芸者が使った細かな道具について実際に触れ
ていただきながら話しをすすめたいと思います。経
営や現代の生活には何の役にも立たないので、あら
かじめお断りしておきます。

武士と武家について語り出すととんでもなく長くな
りますのではしよります。ただ、映画やテレビの時
代劇で登場する武士は、ほとんど虚構で、江戸時代
中期に創り上げられたもので、明治時代以降の小説
家や演出家が創り上げたのです。室町時代から幕末
までの戦いにおける死傷者数とその原因を丹念に調
べた学者がおりまして、合戦場の発掘物や遺骨から
も裏付ける結果が出ております。その統計によると、
多い順番に弓矢、槍、つぶてとなっております。つ
まり、戦いで敵を倒すときは誰だって怖い訳で、太
刀や刀での戦いという接近戦は避け、出来るだけ遠

くから攻撃できる、弓矢、長槍、薙刀、金砕棒といった道具を使って敵を倒していた訳です。敵が傷ついて弱ったところを体術・組討ち術で倒し、脇差し・短刀・鎧通しで留めを刺して、首級を上げるというのが、戦闘の方法でした。鎌倉時代までは、留めを刺すために少しでも刀身の重みを減じた鵜の首造り短刀や大鎧の札の隙間に入れやすい鎧通しを使用していた。

武士や武芸者は江戸時代初期に家康が厳しく取り締まりました。武家諸法度などでは、いわゆる藩士が持つ刀の長さや鍔の大きさ、その様式まで細かく決められており、さらに殿中に限らず市中で刀を抜くと、死罪・お家取り潰しという厳しい定めがあったことから、江戸時代の中期以降の武士は、武芸よりも勉学に励み、勤務に勤しんで出世する道を進むしかなく、現代のサラリーマンと大差ない生活をしていました。武士は、余程のことがない限り刀を抜く訳にいなかったため、結構自由に武具を持っていた町民や浪人などの不逞の輩に対して、万が一の不測の事態に備え、色々な小武器を携行して護身をしていた。1830 年ごろ、天保年間の殺人記録では 30 数件ほどで、死に至る事件の記録はあまり無い。時代劇と相当な差がある。

小さな鉄製の武器を「寸鉄」と言って、鉄は鍛えた鍛鉄を用いたものが多い。武芸十八般の中に銃剣術とあり、これは棒手裏剣を指して、諸流派があります。鎖鎌から派生した鉄の塊を鎖の両端に繋げた「手鎖」というものがあり、投げたり受け止めたり、敵や武器を絡め取ったり出来たので、懐や袂に入れて携行しました。鎖は沸かし付けで切れ目がなく、市中を廻る刃引きしか持てなかった奉行所の同心も、隠し持っていたと記録されています。奈良時代ごろまでの徒士衆は、刀は持てなかったため、槍と「兜割り（五郎入道蝦夷拵え）」を持って戦に出向いたようで、これがのちの十手の原型にあたります。

面白いのが女性の「かんざし」で、沖縄の「ジーファー」などは、完全に武器となります。よく言われるのは、嫁に行って旦那が不都合なら「匙」で毒を盛って殺せ、切羽詰まったら喉をついて自害せよという教えだとか。ほんとかどうかは分かりません。

武器は危ない。自分を護るためにどう戦うか、逃げるだけではどうにもならない時もある。徳川家が、侍の牙を抜くために創った武家諸法度に抵抗するため、最低限の護身の道具にと知恵を絞ったようです。しかし、ほぼ使うことはほぼ無かったのではないかと思います。

ご紹介したのは、武芸十八般に出てくるうちの小道具類です。基本的に、体術が出来ていないと使うのは難しいものばかりですが、最近は物騒な国になってしまったので、こういった護身の類いの道具も必要な時代なのかなとも思います。



第 1367 回例会 2025 年 9 月 12 日

創業月の紹介

水口 弘士 昭和 26 年 9 月 1 日

株式会社水口組

戸田 拓夫 昭和 36 年 9 月 1 日

広島荷役株式会社

田中地宏保 平成 5 年 9 月 3 日

ジー・エム・システム株式会社

松苗 弥生 平成 21 年 9 月 18 日

株式会社クレエ

会長時間

みなさんこんにちは。9 月度 2 回目の例会となります。次週から 2 週間例会はお休みとなります。次回開催日は 10 月 3 日となりますので、お間違いないようよろしくお願いいたします。

さて、本日の卓話は、社会奉仕について社会奉仕プロジェクトチーム吉村委員長となっております。本年度社会奉仕プロジェクトの計画のひとつである出前授業が先週 5 日(金)に千田小学校で開催されました。私は仕事で伺えませんでしたでしたがそれについて本日の卓話で話がきけると思いますので、吉村会員どうぞよろしくお願いいたします。

とある雑誌に記載してあった内容を少しご紹介させていただきます。

体の不調は声の衰えから始まると言われています。健康や寿命を大きく左右する声帯、最近、声がかすれる、高い声が出しづらい、話を聞き返されることが多くなったなど思い当たる節がある方は、健康状態に黄信号がともっていると言えるかもしれません。大げさかもしれませんが、人は声から老けていきます。そして声の衰えはその人の健康を損ない、寿命にも響いてくるそうです。喉には、4 つの大切な機能があります。一つ目は、声を出すこと。二つ目は息をすること。三つめは嚥下食べ物を飲み込むこと。そして、4 つ目が力むこと。いずれも生きていく上で不可欠な機能であり、これらが損なわれれば生活に大きな支障をきたしてしまいます。特に三つ目の嚥下機能が衰えれば、誤嚥を起こして食べたものが気管や肺に入り、最悪、死に至ることもあります。食事中によくむせる、咳をする、食べこぼしが多い人は

お気を付けください。四つ目の力む機能と健康との関係については、力むと声帯がキュッと締まり体に力が入ります。アスリートたちが大事な場面で気合を発したりするような動作の事です。しかし、のどの衰えにより力む機能が損なわれてしまうと、ここぞという時に体に力が入らず踏ん張りがきかなくなります。ペットボトルの蓋があけにくい、ゴルフの飛距離が伸びなくなったというのは、握力や腕力ばかりでなく、喉の衰えも関わっていますので、声をだし、喉を鍛えるようにしてみてくださいでしょうか？

先週に引き続き 9 月は、「基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間」にとなっております。

本日は、ロータリーの友についてご紹介させていただきます。

1911 年 1 月に創刊された『The National Rotarian』は、ロータリークラブのニュース、新しいクラブの紹介、そして創設者ポール P. ハリスのエッセイなどを掲載した雑誌です。ハリスは創設の目的に触れ、「ロータリーの哲学とは何か」と問いかける姿勢を見せました。事務局長チェスリー R. ペリーと共に、増加する会員に情報を届けるため、この雑誌を創刊しました。ペリーは 1928 年まで初代編集長を務めました。

カナダや英国でクラブが設立されたのを機に、1912 年 9 月号から雑誌名を『The Rotarian』に変更。創刊当初は事業倫理や人格形成、会員増強に重点を置き、著名な批評家や作家、アーティストたちが寄稿。1940 年代には、戦争の影響についての評論が多く寄せられ、シャーウッド・アンダーソンやウィンストン・チャーチル、トーマス・マンなど著名人の寄稿が注目を集めました。こうした記事は、後に 3 冊の小冊子として再出版されています。

さらに、ロータリークラブが世界中で広がる中で、各地域のニュースや視点を取り入れた地域雑誌も誕生しました。最初の地域雑誌は 1915 年に英国とアイルランドで発行。現在、ロータリーワールド・マガジンプレスは 130 カ国以上、20 以上の言語で 30 以上の地域雑誌を発行し、世界のロータリアンの半数以上が『The Rotarian』の代わりにこれらの雑誌を

購読しています。

ロータリーの雑誌は、ただ情報を伝えるだけでなく、会員同士のつながりを強めたり、考えを共有したりする大切な役割を持っていると思います。100 年以上の間、時代の変化に合わせながらも、ロータリーの大切な考えを伝え続けてきたことに感動しました。また、地域ごとの雑誌には、それぞれの国や地域の文化や価値観が反映されていて、ロータリーがどれだけ世界中で多様性を大事にしているかがよくわかります。

以上会長時間とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事会務報告

1. ボックス配付物

・10 月例会についてのご案内…出欠について回答が分かる方は、お帰りの際に回答用紙を受付に提出願います。

- ・休会のご案内
- ・会報 8 月号(希望者のみ)

2. 回覧物

先週に引き続いてロータリーカレンダーについて

3. お知らせ

- ・次回 9 月 19・26 日の例会は休会になっております。次回の例会 10 月 3 日は 18:30～シェラトングランドホテル広島 3 F にて 3 R C 合同夜間例会となっております。お間違えないようお願いいたします。
- ・例会終了後、定例理事会が 4 F 「結」にて開催されますので、関係者の方はご出席お願いします。

委員会・同好会報告

1. プログラム・出席委員会

2. 広報・ロータリーの友誌委員会

ニコニコ箱

二上 真也

本日の卓話、吉村会員よろしく申し上げます。

高藤 孝一 (W)

①本日の社会奉仕について吉村委員長宜しく申し上げます。

②先週の例会、欠席してしまい申しわけありません。

福山 正剛

吉村委員長、本日の卓話よろしく申し上げます。

吉村 元亨 (W)

①9/5 の千田小学校の出前授業みなさんの協力に感謝

②本日、社会奉仕の卓話をします。

水口 弘士 (T)

一昨日、大雨の中 13 年ぶりにゴルフに行きました。13 年ゴルフバッグを放置していたのでクラブのグリップが朽ちていました。スコアは 160 オーバーでした。

田中地宏保 (W)

①吉村委員長卓話楽しみにしております。②息子の結婚式が来週末あります。出席してきます。

合計 11,000 円

愛の 100 円箱 5,160 円

プログラム・会員卓話

卓話者：社会奉仕プロジェクトチーム 吉村 元亨 委員長

卓話テーマ：社会奉仕について

皆さん、こんにちは。社会奉仕委員会の吉村です。本日は、ロータリークラブの社会奉仕活動についてお話しする機会をいただき、誠にありがとうございます。

今日は、ロータリークラブのマニュアルから社会奉仕の話をしようかとも思ったのですが、奉仕をめぐるわたし自身のよもやま話をした方が、眠くならないのではないかと思います、そうさせていただきたいと思います。聞き流していただければ幸いです。

今年度の奉仕プロジェクト委員会は、社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕、国際奉仕を、各チームが一体となって協力して行うという橋沢理事の方針に沿って行っておりますが、大変良いことだと思っております。活動する人数を相互に補うこともありますが、それぞれの奉仕活動の内容はクロスオーバーすることが多くあると思っております。

現在、社会奉仕プロジェクトチームで行っております「小学校への西街道に関する出前授業」も、小学生対象という面では、青少年奉仕となりますが、将来、子どもたちが広島を知り、広島を好きになり、広島で就職したいと思う人が少しでも増やしたいとの視点で考え、原爆でなくなってしまった広島

の文化、歴史を知り平和を考える人になってもらいたいとなるとの視点でみると社会奉仕や国際奉仕となるわけです。

まず、ここで、ロータリークラブと奉仕という視点で、軽く歴史を振り返ってみましょう。

ロータリークラブの歴史においてスーパーヒーローと言えば、言わずと知れた、ロータリークラブの発案者であり、3 代目の会長となったポールハリスです。

当時のシカゴは「汚職の街」とも呼ばれ、不正や詐欺的な商取引が横行していました。

ハリスは「互いに信頼できる誠実な職業人同士で助け合える場」が必要だと感じていました。仲間を集めてロータリークラブを組織し、相互の親睦を深め正しい商売をしようと思いました。ちなみに、初代会長はシルベスターシールという人でありました。

私は、もう一人ロータリークラブの歴史のスーパーヒーローを上げるとするとアーサーシェルドンだと思っています。

この方が実業家の親睦団体であった、ロータリークラブに奉仕という概念を持ち込んでいます。現在でも、ロータリーは社会貢献する組織でなければいけないと主張されたのです。

ポールハリスの名前は良く耳にするので覚えている方も多いと思いますが、アーサーシェルドンは覚えにくいですね。

彼は 1908 年、36 歳の時にシカゴ・ロータリー・クラブに入会しました。「あのさ〜シェラトン」と覚えれば我々は記憶しやすいと思います。実は、今も時々皆さんの頭を悩ます言葉「最も奉仕する者が最も報われる」という「超我の奉仕(Service Above Self)」のアーサーシェルドンの発案です。

この二人を持って、現在の、{親睦}と「奉仕」というロータリーを支える 2 大原則が整ったと言えます。「実業を行うものが、親睦を図り正しい道徳観を持ってビジネスをしよう」というポールハリスの考えと、「社会に貢献するために奉仕活動をしよう」というアーサーシェルドンの考えが合わさったわけですね。

商売における道徳的正しさと社会奉仕という言葉

聞く時、これは、ある有名な明治期の日本の偉人を思い出しませんか？そうです。渋沢栄一です。

日本資本主義の父と言われ、まさに日本市場最高の実業家であります。が、そして、銀行をはじめ 500 社に及ぶ会社を設立しただけでなく、「論語とそろばん」という本を著し、ビジネスにおける道徳を訴えました。

ビジネス学校を作り、ビジネスのあるべき姿を啓発しました。また、現在の社会福祉協議会や日赤の設立など福祉に尽力し、日本の福祉の父とも言われています。

なぜ、「論語とそろばん」という本を著し、学校を立て、福祉に尽力されたのかご存じでしょうか。渋沢栄一は大河ドラマにもなったのでご存じの方も少なくないと思います。

明治期で、渋沢栄一政府関係の仕事をしていた時、海外から、「契約と違う粗悪な商品やだまし売りともいえる商品を受け取っている、こんなことでは取引はできない」とのクレームを受けました。このままでは日本の世界の国の仲間になれないとの危機感を持ちます。

日本の商業界には、3 方よしなどの伝統があり、昔から商道德を大切にする伝統があったと思っている方もいらっしゃると思いますが、実際はそうとばかりではなかったようです。

危機感を持った渋沢栄一は、「論語とそろばん」を著し、実業家になる人のために学校を作り正しいビジネスを行う実業家を作ろうとしました。そして東京商業学校(現・一橋大学)や大倉商業学校(現・東京経済大学)を作ったわけです。

そして、もう一つ福祉の面でいえば、渋沢栄一が、時のイギリスロンドンで見たものがありました。機関車や立派な街並み、工場群、華やかなパーティという文明の発展した表のロンドンには、裏のロンドンがあったのです。夜、街中を進むと、煤けた街の暗闇にたむろする貧しい人々、くたびれ果てた労働者、病人たち、ごみにあふれた街角がありました。西洋文明がもたらす、華やかな文明開化とその陰で苦しむ人々も見てきていたのです。これが、後年、福祉に尽力した渋沢栄一がいた理由でした。

彼こそ、ロータリアンの鏡と言いたくなるような人だとは思いませんか。

実は、渋沢栄一が実業界で活躍した時代でもあります 1905 年にロータリークラブは発足し、日本へは、1912 年には言っております。ひょっとして渋沢栄一はロータリアンだったのかなと思い、生成 AI で調べてみました。

渋沢栄一がその存続のため、再興に尽力された東京市養育院にロータリークラブから寄付があり、渋沢栄一が謝辞を述べた記録がありました。しかし、渋沢栄一自身がロータリアンであったとの資料は見つかりませんでした。

さて次にアーサー・シャルドンの「最も奉仕する者が最も報われる」という「超我の奉仕(Service Above Self)」に注目してみましょう。

この言葉を奉仕活動をすればするほど、まわりまわってその分が自分の利益になってかかってくるという意味に取っている人はいませんか。

自分が百万円分奉仕をしておけば、いつか自分が困ったときに百万円分のものが帰ってくる。利子がついて、120 万円分が帰ってくる。いや、倍返ししてもらおうと思うのはちょっとおかしいですね。

私は、ロータリーで奉仕できる自分がいるということがそれだけで素晴らしいということを意味していると思っています。経済的にも、精神的にも人に奉仕できる自分であるということは感謝すべきことだと思います。

きれいごとに聞こえますか？

ところで、皆さんは、人間について、性善説で考える人ですか、性悪説で考えるひとですか。

赤ん坊は純真無垢だし、たとえば、人は、子どもがおぼれていれば、後先考えず助けようとするよい存在だと考えますか。

それとも、人はもともとエゴの塊で、自分さえ行ければと考え、平気で人を傷つける存在だと考えますか。

どちらの視点でも、だから、人は良い環境に置かれ、正しく教育を受けるべきだという同じ結論にはなるのですが。

とはいえ、人(人類)は相当やばいところを持ってい

ることは間違いないようです。

サピエンス全史というイスラエルの学者が書いた本があり、全世界でベストセラーになった人類史の本の話です。

人類ホモサピエンスは 1 種類しかいないという不思議をこの本には書かれています。

例えば犬であれ、秋田犬もいれば、ブルドッグ、チワワ、シェパードと多種多様な種類がありますが、人類はホモサピエンスだけしかいないのです。なぜなら、ホモサピエンスはネアンデルタール人やその人類を皆殺しにしてしまったからだそうです。言ってみれば、秋田犬しか犬がいなくなったのは、秋田犬がほかの犬種を皆殺しにしたからということと同じです。

人類を歴史から見ても、人類の歴史は、戦争という殺し合いの歴史です。

平和な時代もありましたが、これまで恒久平和などというものはあった試しがありません。ちなみに人類というくくりではなく、類人猿という括りで見ると、チンパンジーは集団で殺し合い、つまり戦争をするそうです。ゴリラは単独でけんかはしますが、集団での殺し合う戦争はしないということです。

人類は、類人猿の中でも特に攻撃的な遺伝子を持つやばい種だということなのです。その歴史を戦争の連続で埋め尽くし、ついに核兵器まで作り、広島に落としています。

今年の 8 月 6 日の広島市長や広島県知事の平和宣言のスピーチは、皆さんは聞かれましたでしょうか。

「核兵器廃絶へ向かって、広島は、はいつくばってでも突き進むんだ」という言葉に私は感動しました。ここまでやばい攻撃的な遺伝子を持っている人類は、その長い歴史を通じて、できれば殺し合いたくないという思いを持つようになり、宗教や道徳、相互交流を通して、文化として育ててきてました。市長や知事の話、そして小学生の平和宣言スピーチにも、他人(相手)の苦しみ、悲しみを理解することが平和につながるという言葉が繰り返されておりました。他人の事を思い、苦しみや悲しみに寄り添う活動が、結局、自分、自分の子孫たち、人類の生存への望みだと思います。

つまり、社会奉仕は、超我の奉仕を通じて、自分と人類を救う活動なのです。

恒久平和などというものは、これまで存在したことはありません。これから恒久平和が訪れると考えるのもちょっと尊大すぎるように思いますが、これから数十年は平和であるように行動できると思います。その先の平和は次の世代の人たちにゆだねるしかないと思います。

城南RCは先月、平和を願って、30種年記念碑を平和公園の一角に立てるという大仕事をしました。今年は、昨年度と同様に、小学校で広島西街道についての出前授業を行い、原爆で失われた街のことを知り平和を考えてもらう事業を継続してまいります。

社会奉仕委員会では、さらに、もう1つ、戦前にあった祭りの賑わいを発掘し、将来の出前事業などに貢献したいと思っています。

実は、亡くなった母がよく話していたのですが、子どものこと大手町に住んでいた時、住吉神社の祭りの壮大な風景、たくさんの出店、本川でも打上花火、そして本川を進むおびたしい数の祭り化粧をした船のことを聞いていました。そのことを探って、目に見えるものにしていきたいと思っています。

そろそろ時間が来ましたので、私の卓話を終わらせていただきます。

